

(欲深き男ゆえ)



物事の判断や予測を誤まらせたりするのは、欲のせいです。欲が目曇らせるのです。

欲とは何か？

僕なりの解釈で、簡単に申しますと「自分にとって都合のいい」見方、考え方、処し方と言うことになります。自分にとって「のみ」と書かないのは、「自分たち」にとってと言う場合があるからです。例えば自分の働いている会社、団体とか部署とか組織とか。

この欲、あるいは欲目、つまり自分にとっての都合を消すことが出来れば、物事の成り立ち、構造、顛末というのは、実にキレイに見えてきます。判断や予測を誤ることも殆どないでしょう。

しかし、悲しいかな、自分も含めて人間と欲とは切っても切れない関係にあります。

そのせいで、是まで63年間、判断の誤り、予測の狂いを多々繰り返し、さんざんな目に遭ってきました。

いい加減懲りても良さそうなものですが、相変わらず出来ないでおります。

実に、誠に、どうしようもなく欲深き男ゆえ、またぞろ同じことを繰り返す日々が続いています。間違いなく死ぬまで直らないでしょう。